

職場の技術改良に貢献

創意工夫功労者賞 県庁で伝達式
県内3事業所の5人に賞状



創意工夫功労者賞に選ばれ、賞状を贈られた受賞者＝18日午後、県庁(撮影・和泉太)

新たな発想や手法を取り入れ、職場の技術の進歩や改良に貢献した個人らを文部科学相が表彰する「創意工夫功労者賞」の伝達式が18日、県庁であった。県内からはルネサスセミコンダクタマニユファクチュアリン

グ西条工場(西条市)、アイム(四国中央市)、ハートウエル(今治市)の3事業所計5人が受賞し、賞状が贈られた。ルネサスーの石飛弘志さん(60)は半導体の基板製造に関し、遅延要因を予測して事前対応する仕組みを導

入。90日以上必要だった完成までにかかる期間を約3割削減させた。紙加工品や機能性フィルムを製造するアイムの川本晃己さん(33)は食品分野向けフィルムの開発に着手。果実などを老化させるエチレンガスを吸着する成分をフィルムにコーティングし、鮮度保持につながった。

タオル製造のハートウエルでは、織機に付いた綿ほこりを取り除くために稼働を止め、2人で月計160時間の除去作業をしていた。正岡順二さん(51)と大川恵助さん(49)、御手洗健司さん(38)は適したサイズの付着防止用カバーを考案。1人で月5時間の作業で済むようになり、負担軽減と生産性の向上が実現した。石飛さんは取材に「栄え

ある賞でうれしく、励みになる。家族にも仕事の内容を知ってもらえ、価値のあることをしていると自負できた」と答え、ほおを緩ませた。(和泉太、河野西)

2024年4月19日 愛媛新聞記事
(掲載許可番号:d20240422-01)